

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒 勝 中 尚
埼玉県草加市稲荷 5 丁目



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場 8 4 - 9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：棟梁羽子板Ⅲ M 1 2 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：φ10.6mmの棒鋼を曲げ加工し、先端をつぶしたものの 全長：285mm（図-2参照） 材質：SS400（JIS G 3101） 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625）</p> <p>2. 接合具 六角ボルト：M12×125mm，ねじ部の長さ；60mm，胴部径；10.6mm 材質；SWRM8（JIS G 3505） 六角ナット：M12，2個使用，材質；SWCH8R（JIS G 3507-2） 角座金：2枚使用，40×40mm，厚さ4.5mm，材質；SPHC（JIS G 3131） 上記表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625）</p> <p>3. 使用軸組 柱及び横架材：樹種；すぎ，寸法；105×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>耐力算定基礎資料：表-2 短期基準引張耐力(P_{ot}): 10.3kN 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（へ）に定める 10kN用引き寄せ金物（必要耐力10.0kN） に該当する。
試験期間	平成20年 1月16日
担当者	<p>構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 渡 辺 一 ， 高 橋 慶 太</p>
試験場所	中央試験所